

# 大町病院サポーターの会会報

No76  
2020年6月発行  
大町病院サポーターの会  
発行責任者降旗剛

## 令和2年度（第11回）総会は書面決議で

### 全議案圧倒的多数で可決、承認

今年度の総会は、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、感染防止の観点から書面決議によることとし、4月22日発送を持って提案とし、5月11日締切で同意、不同意投票により行われました。開票は5月12日、公共施設閉鎖に伴い、松崎公民館をお借りして降旗剛会長はじめ役員6人と立会人会員1人の7人で行われました。会員数456（個人・団体）、回収はがき223通、全議案同意は220通、白票3通、不同意0でした。同意の取り扱いとなる無回答が234と、複数口加入者の残口数49口（票）を加えると同意は503票となります。この結果すべての報告、議案は承認、決議されました。



### 決定、承認された案件

- 1、会則一部改正
- 2、令和元年度事業報告
- 3、令和元年度決算報告
- 4、監査報告
- 5、令和2年度事業計画
- 6、令和2年度予算
- 7、役員

### 新役員の方々

顧問	種山 博茂	幹事	太田 美知子 (平)
会長	降旗 剛	幹事	松尾 忠久 (平)
副会長	海川 明文	幹事	清水 あさひ (常盤)
副会長	柳澤 英幸	幹事	鈴木 佳幸 (常盤)
副会長兼事務局長	渋谷見 博	幹事	酒井 孝芳 (美麻)
次長	塩原 義夫	幹事	北澤 孝一 (美麻)
次長	川上 晴夫	幹事	小浪 和正 (八坂)
次長	相澤 文人	幹事	篠崎 久美子 (白馬)
次長	内山 博	幹事	田中 栄一 (白馬)
次長	松下 吉邦	幹事	吉岡 久人 (小谷)
次長	中島 一郎	幹事	下川 陽一 (市職労)
次長	高橋 博久	幹事	原山 奈々 (病院労組)
幹事	吉沢 義雄 (大町)	幹事	太田 智子 (病院労組)
幹事	江津 悌雄 (大町)	幹事	興国 和美 (女性団体)
幹事	丸山 令江子 (大町)	幹事	赤羽 健次 (体育協会)
幹事	伊藤 芳行 (大町)	幹事	村山 潤 (大町岳陽高)
幹事	島田 元実 (大町)	幹事	坂井 征洋 (病院)
幹事	若林 茂男 (大町)	幹事	鳥羽 嘉明 (病院)
幹事	西澤 和保 (大町)	幹事	西村 彦一 (薬剤師)
幹事	大日向 明 (社)	監事	黒岩 良介
幹事	遠藤 照子 (社)	監事	西澤 忠司

# 新年度、新規採用職員は 19 人

ようこそ大町病院へ。この春、新しく採用された皆さんです。



内科医 小林健二さん      小児科医 草刈麻衣さん      総合診療専攻医 菊地一平さん      同 縣翔子さん

保健師 2 人(川嶋涼子さん、太田賢吾さん)

看護師 5 人(若松郁さん、栗山千穂さん、佐伯愛美さん、奥原大地さん、水野亜美さん)

介護福祉士 2 人(松井隆登さん、横川加奈さん)

管理栄養士 1 人(内山菜々子さん)

診療放射線技師 2 人(等々力伸彦さん、高橋鮎美さん)

社会福祉士 1 人(高橋幸さん)

医療事務 2 人(飯島真奈美さん、平林葉里さん)

以上 19 人です。病院機関誌「きらり」で既に紹介されていますが、この 19 人が大町病院の一翼を担ってくれます。大いに期待しましょう。

皆さんよろしくお願ひします！

## オリエンテーションでサポーターの会目的・事業説明

4月1日、南棟「さくら」に於いて開かれていた新採用職員へのオリエンテーションで降旗剛会長が期待を込めて新入職員への歓迎あいさつと、高橋博久次長がパワーポイントを使用し会の目的、事業内容を説明しました。

期待に胸を膨らませた新採用の皆さんからは「大北地域の住民の命と健康を守る」熱い思いが伝わってきました。



挨拶に立つ降旗 剛会長

# 市民からの声よせられる

## 大町病院の未来を考える

令和2年1月23日大系タイムス朝刊にて「県内19市で大町市は8年連続高齢化率1位」「大町市の高齢化率に危機感」がトップ記事になっていました。高齢者サービスとは何か、その辺を含めて、大町病院の在り方を考えて行こうと思い、今回の寄稿となりました。

市内の道路が傷めば利用者が少なからうが、市は補修のための予算を立てます。

消防について言えば、その事業のほぼすべてが税で成り立っています。消火、救急のないときでも、訓練や点検など様々な事象を想定して仕事をしています。黒字も赤字もありません。

大町病院のスタッフも消防救急隊員の皆様と同様に、毎日毎日、それこそ沢山のかけがえない命と向き合っています。

水道事業は、赤字になれば値上げをすることが出来ます。一方で大町病院は赤字だからと言っても値上げが出来ないので。何故なら、病院の経営は国が決定する公定価格での運営であり、診療報酬が国の方針によって下がる一方の中、経営改善努力をしているのが現状です。

国の方針がどうあれ、大町病院が黒字にさえなれば良いという事なら、極端論ではありますが、少子化によって利用者減少がハッキリしている赤字診療科を失くすのも一つの選択です。

常時スタッフを配置し、万全を期している過疎地医療や救急医療、周産期医療はどんなに頑張っても黒字にはなりません。しかし、それを切り捨てることが出来ないのが自治体立大町病院の使命であるならば一定額を大町市の一般会計から助成するのに何の問題もないと考えます。

職員、先生の皆さんにより給与カットを含めた改善計画は、確実にその成果を上げてきています。しかしながら、それにも限界があるという事を私たちは理解してあげなければなりません。国からの大町病院に対しての交付金がありますが総務省ははっきりその額を示しません。正確には一体いくらなのかを、市民にはっきりと示し、更にその金額に大町市からの助成金をいくら上乗せしたら大町病院の経営を軌道に乗せることが出来るのか議論できればいいと思います。

高齢化率で長野県のトップを行く大町市の現状と新型コロナに見られる感染症唯一の受け入れ可能な大町病院は地方病院の未来モデルと言ってよいでしょう。

市立大町総合病院の未来が長野県の公立病院、ひいては全国の公立病院の希望となるように、温かい理解と支援と応援のエールを送りたいと思います。〈原文ママ〉

—市民の独り言。

## 福寿草が玄関に並びました

1月26日、恒例の春を告げる福寿草の花が玄関に並びました。

寒さに耐え日が差すと金色に輝くかれんな福寿草です。寒い厳冬の後には必ず暖かな春が来ることを身を持って示しているかのように……。





# 温ったかボルシチ鍋の差し入れをしました

1月19日昼食に間に合うよう大鍋につくったボルシチを医局に差し入れしました。これは一昨年につづき二度目となります。材料の野菜は会員の畑で収穫したものをふんだんに使ってつくったものです。特に市販品が少ないビーツは、7月播種し12月初旬まで畑においたもので甘みがのっています。

大きな鍋での料理はそれに対応する鍋とコンロが必要です。松崎自治会の協力を得て、公民館の厨房をお借りし実現

にこぎつけました。様々な食材の旨味を引き出し先生方の評判も上々だったようです。次年度も実施する方向で検討したいと思います。

また不作であったため柿の入手に苦労しましたが、やや固めではありましたが、白い粉を吹いた干し柿をたくさん会員から差し入れがされました。

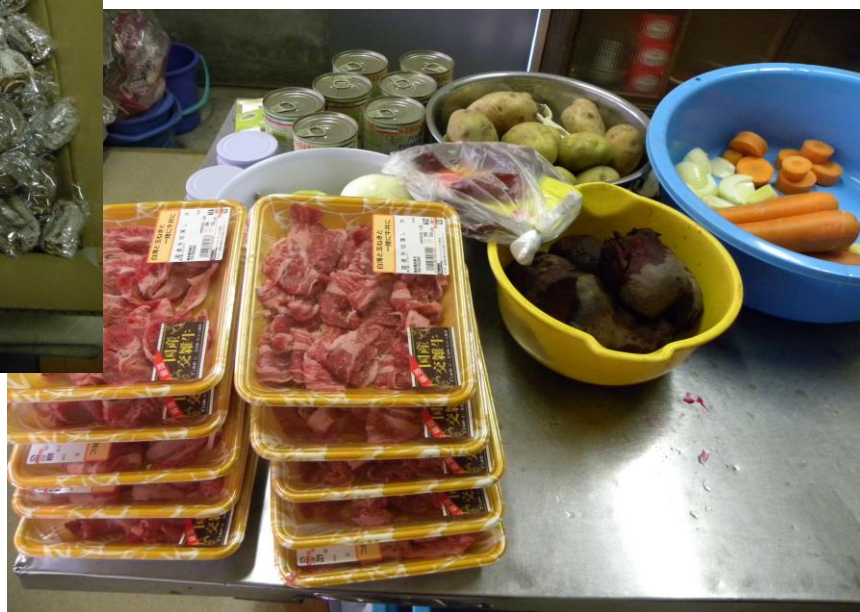


大鍋に作られたボルシチ



← 会員から干し柿の差し入れ

ボルシチの食材 ↓



## Dr 大町合宿は中止に

2月22日～23日、大町病院を中心に全国から50人余りのドクターが集まり医療合宿を予定していましたが、新型コロナ感染の状況に対応するため、今回の計画を中止しました。準備を進めていただいた皆さんご協力ありがとうございました。

## 北アルプス子ども応援プラットフォーム……

### 市民が身近に大町病院食堂を利用して 阿部知事が視察



北アルプス子供応援プラットフォーム(代表金枝由香里弁護士)は2回目となる大町病院を会場としてこどもたちの居場所づくり活動を実施しました。この日は阿部守一知事が大北地方を視察に訪れ、市町村長との懇談の後大町病院で行われている子供応援プラットフォームの視察を行いました。

## 信州大学医学研修生が大町病院で研修、視察 大町は鎌倉、室町時代から仁科氏が治めてきました

信州大学医学部5年生の末広かれんさんは、1月4日から1月の予定で大町病院で研修をしています。1月21日、大町市内の案内をサポーターの会で受持ち、案内をしました。

案内先は松崎和紙、盛蓮寺、仁科神明宮、藤尾覚音寺、麻の館、山岳博物館、木崎湖、中綱湖、青木湖、森城跡、上原環状列石、劇団四季倉庫群、ワイン醸造所、駅前公園早春賦の歌碑と吉丸一昌の銅像、国際芸術祭事務局、八日町町並み界限、わちがい庭園、北アルプスブルワリー、横川商店、ユナイトコーヒーなどを回り説明しました。最後に「素晴らしい歴史と町並みのある大町病院へいつか戻ってきてください。」とお願いしました。末広かれんさんはニコリと笑って頷いてくれました。





## 信大初期研修医の歓迎会が開かれる



1月23日、1月間の初期研修に  
来ている4人の研修医を囲み歓迎  
会が開かれました。

研修生の他、高木哲先生、田中夏  
実先生、新安祥也先生とサポー  
ターの会高橋次長が出席しました。

懇談し自己紹介などで盛り上が  
りました。高木先生より「将来いく  
つかの病院を回ることとなるが、  
その時過去に来たことがある身近  
な大町病院へ来てもらいたい。」と  
の話がされました。高橋次長から  
は「一宿一飯の恩という言葉があ

ります。いつか来てください。その時は土地、家、配偶者、お墓なんでも要望に応えられるサポータ  
ーの会が待っています。ぜひおいでください。」とあって笑いを誘いました。

**相田一宏さん** 信大医学部5年生外科医志望。大阪出身趣味登山（冬山も）スキー・スノーボー  
ー 鹿島槍ヶ岳が好き。病院の窓から毎朝眺めては、自分を奮い立たせている。

**和田周夏さん** 栃木県宇都宮市出身。前に大町病院で研修した塚田氏に楽しいところだと紹介され  
大町病院へ来た。趣味は軽音楽。ボーカル。高校時代は演劇をしていた。楽しく研修している。

**小島梨紗さん** 中野市出身。富山大学医学部卒。陸上競技長距離、駅伝（中・高）大学時代は野球部  
マネージャー。初期研修1年生。この後北信病院へ行く予定。

**末広かれんさん** 東京都池袋出身循環器内科志望。この後埼玉県で研修したい。手に職業を持ち  
たいと思い医師を選んだ。まわりに信州大学へ行く人がたくさんいたので気にならずに選択した。

## 猿害により玉ねぎ全滅 差し入れ用玉ねぎ 800本被害に

